

パートナーシップを通じての世界早期警戒強化

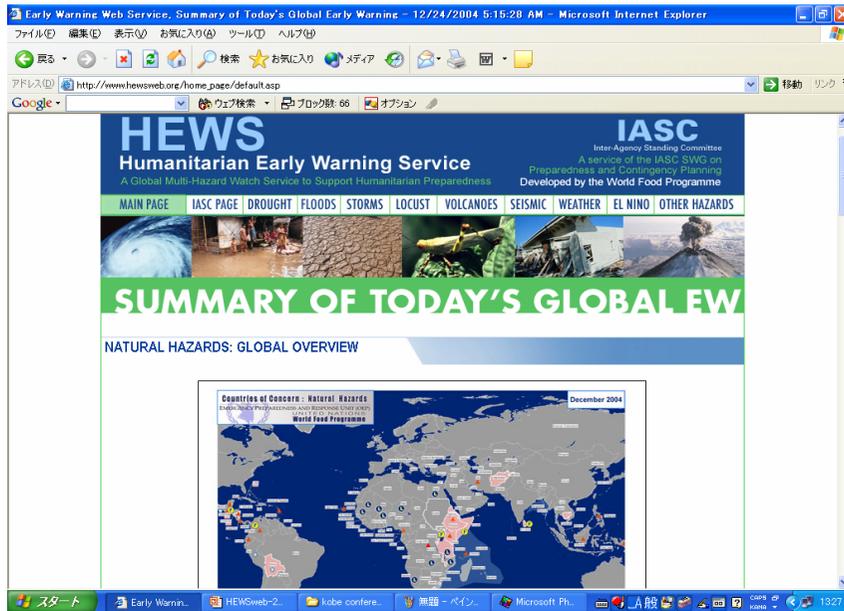
HEWSweb

Humanitarian Early Warning Service

人道早期警戒サービス

www.hewsweb.org

2004年12月、国連世界防災会議を目前に、早期警戒システムの強化に向けた世界的活動の支援に下記のような新たなサービスを導入しました。災害リスクの軽減に貢献するものとして期待されています。**HEWSweb**の開発には、WFPが中心的な役割を果たしています。



HEWSwebとは何か: 地震、津波、干ばつ、洪水、台風、害虫被害、エルニーニョ、や火山活動に関する最新予報と警報を紹介する早期警戒ウェブサイトです。このウェブサイトは、上記の自然災害それぞれのページを設け、資料なども掲載しています。

目的: 災害リスクの特定・評価・監視・および早期警戒を目的として、国連全体で災害情報を包括的に扱うため、多様な情報源からの災害情報を網羅的にあつめ、合理化することにより、情報へのアクセスを容易にし、早期警戒分野のさらなる発展に寄与しています。

HEWSwebは、ますます増大し、複雑化する危機の予防に人道コミュニティが直面する、これまで経験することのなかった課題や早期活動のニーズに対応するサービスです。

パートナー: HEWSwebは、国連機関と機関間常設委員会 (IASC) のパートナーによって開発された人道パートナーシッププロジェクトで、人道政策およびオペレーションに関する機関間共同作業の強化を助長します。

HEWSwebは、様々なパートナーによって支援されています。参画している機関は下記のとおりです。

国連世界食糧計画 (WFP)、国連児童基金 (UNICEF)、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)、国連人道問題調整局 (OCHA)、世界保健機関 (WHO)、国連食糧農業機関 (FAO)、国際赤十字・赤新月社連盟 (IFRC)、赤十字国際委員会 (ICRC)、国連国際防災戦略 (ISDR) および様々な国際NGO。

お問合せ: http://www.hewsweb.org/home_page/contactus.asp または wfp.early.warning@wfp.org